

<佐久市不登校等対策連絡協議会 これまでの取組>

○平成 18 年度

「いじめ問題に対する提言」「不登校問題改善への提言」（中間報告）を協議会として作成し提言した。

○平成 19 年度

平成 18 年度の提言を含む各学校での不登校等の問題に対する実践状況を把握するために、教育委員会でアンケートを各校へ依頼し、協議会でまとめて考察を加え、各学校に報告した。

○平成 20 年度

3つのテーマ「中学校区不登校・いじめ等対策連絡会の充実」「授業改善の推進」「家庭や地域、関係機関等との連携」を設定し、各校の取り組み状況について学校へアンケートを実施。その結果について考察し各学校に報告した。

○平成 21 年度

中学校区代表者から不登校の取り組みについて発表。不登校対策連絡協議会の方向について検討。今後も平成 20 年度の 3つのテーマを基本としていく。

○平成 22～24 年度

“新たな不登校生を出さないためには”を念頭に、「子どもはみんなの宝」、「目をかけ、手をかけ、声をかけ」のリーフレットを作成し、学校、家庭、地域に周知した。

○平成 25 年度

- 不登校の未然防止、早期発見・早期対応
- 不登校児童生徒・家庭への温かい支援

平成 25 年度は、上記の基本テーマに基づき、中込小学校、野沢中学校、田口小学校、浅間中学校、野沢南高等学校（定時制）の事例を発表していただき、考えさせられたこと、広げたいことを取りまとめ、学校に対し、下記 **4項目の提言**をした。

また「**不登校等対策 連携支援マップ**」を作成し、学校へ配布した。

【提言】

- 1 全職員が共通理解を持って対応・かかわれるような環境作りを重視したい。
- 2 どの子にも「居場所・生きがい・存在感」が毎日の生活で感じられる配慮を実践したい。
- 3 学校や保護者が他機関へも安心して相談できるよう、情報の共有化を広げたい。
- 4 先入観や画一的な見方が支配しないように留意したい。

＜佐久市不登校等対策連絡協議会 これまでの取組＞

○平成 26 年度

その提言の視点から各校や関係機関の取り組みをまとめ、**事例集「こんな明るさが見られた！」**を作成し、市内の公立小中高等学校に配布した。

○平成 27 年度

事例集「こんな明るさが見られた！」をうけて、児童生徒の様子に着目し、微かに見えた明るさを大切にしていきたいとの願いがさらに浸透し、提言の実践の紹介や、明るい兆しの報告も多く寄せられるようになった。

こうした現場の取組事例の中から事例を追加し、あらたに保育園、高等学校の事例を盛り込んだ**事例集「こんな明るさが見られた！Ⅱ」**を作成し、市内の小中高等学校に配布した。

○平成 28 年度

平成 25 年度に作成した 4 つの提言について、各校の取組状況などの現状に即した内容にするため、これまでまとめてきた事例集Ⅰ、Ⅱの内容を踏まえた見直しを行い、**「平成 28 年度 不登校等対策・取組への提言」**を作成した。

○平成 29 年度

平成 22 年度に作成した**「子どもはみんなの宝」**チラシについて内容の再検討を行い、まずは、大人や教職員、地域の人たちが協力して身近なできることから始められるように、ポスター（B2）・リーフレット（A4）を作成して配布。

※ポスター配布先…幼稚園、保育園、小学校、佐久市内中学校、佐久市内高校、特別支援学校、公共施設（図書館、公民館 等）

※リーフレット配布先…小学校、市内中学校、特別支援学校、主任・民生児童委員

○平成 30 年度

平成 29 年度に「長野県いじめ防止等のための基本的な方針」が改訂されたのに伴い、佐久市「いじめ防止等のための基本的な方針」について、改定案を検討し作成をした。